



稲童神楽

行橋市 稲童神楽保存会

明治26年頃大分八幡神社の社家から教わったのが始まりとされています。昭和10年頃に戦争で一時中断しましたが、昭和40年頃に復活し現在に至っています。平成25年には「子供神楽塾」を発足し、後継者育成を図るとともに、各イベントや奉納神楽に出演しています。本社は安浦神社。



道場寺神楽

行橋市 道場寺神楽講

明治7年に築上郡赤幡神楽から教えを受けることにより伝承されたとされます。昭和20年頃、戦争で講員が減少して存続が危ぶまれたため、女性に神楽が伝授された歴史を持っています。本社は英彦山の北方にあることからその名が付いたとも言われる北山神社。5月の春祭りと10月の秋祭り、元旦祭で神楽が奉納されます。



天神かぐら

苅田町 KANDA 天神かぐら団

昭和54年、地元青年団を中心に綱引き神楽を舞ったのがきっかけで結成されました。翌年、面や衣装を借りて舞ったところ好評を得ました。以降、岩や蛇を自作し、「岩戸」や島根県の「石見神楽」をモデルにした「大蛇」も大変好評です。本社は菅原神社。



新津神楽社中

苅田町 海龍の杜

平成17年に新津地区の活性化を図るために、独学で神楽を始めました。大原八幡神社に残されていた面を使い、創作神楽として活動を進めるとともに、新津地区で明治時代に途絶えたといわれている獅子舞を取り入れ、新しい神楽として伝統を継承していくことを目指しています。本社は大原八幡神社。



元永神楽

行橋市 元永神楽同好会

昭和32年、かつて行橋市にあった下正路神楽の講員が区の青年団に神楽を教えたのが始まりです。行橋市内外で神楽を奉納するなど盛んに活動しましたが、一時期中断となりました。平成9年神楽同好会として復活し、現在は他地域からの参加や女性の参加も可能で、自由な気風が特徴です。本社は須佐神社。



今井神楽

行橋市 今井神楽研修会

今井神楽講として、小原神楽の指導も受けながら昭和13年に活動を始めました。その後幾度かの中断を経て、平成16年に復活を目指して研修会として再び発足し、神社の祭礼をはじめ竣工式、文化祭、敬老会等で積極的に奉納しています。本社は今井の氏神である熊野神社。



南原神楽

苅田町 南原神楽講

昭和37年に神楽を奉納したのを最後に中断していましたが、平成15年に扇谷神楽(みやこ町)の指導により復活。今では神社での奉納や地域の行事に参加するなど、地域の方々に愛されるよう活動に励んでいます。後継者の育成にも励み、基本に忠実であることを心がけています。



あげ神楽

神楽豆知識

豊前神楽の演目は、大きく「式神楽」と「奉納神楽」に大別される。儀式としての性格の強い「式神楽」は神楽の前半に舞われ、場を浄め神を招く。「奉納神楽」は「あげ神楽」ともいわれ、神社の氏子からの要望を受けて奉納される演目。